

「学生」×「地域」の取組事例発表会 ベストプラクティスコンテストの概要

平成28年2月28日(日)に、三重県庁講堂にて、「学生」×「地域」の取組事例発表会ベストプラクティスコンテストを開催しました。



当日は、学生その他、高等教育機関、企業、NPO、行政などから、約100名の皆さんにご参加いただきました。

当日のプログラムと開催概要は次のとおりです。

＜当日のプログラム＞

- 開会
- あいさつ
- ベストプラクティスコンテスト
10の学生グループが舞台発表
- 事業紹介：「学生×地域活動」サポート情報局の取組について
NPO法人Mブリッジ
理事長 米山 哲司 氏
- 講演会：地域が変える官民学連携の試み
—コラボが生み出す地域再生ストーリー—
東京未来大学 モチベーション行動科学部
教授 石坂 督規 氏
- ベストプラクティスコンテスト 表彰式
- 閉会

開会にあたっては、主催者を代表して三重県知事からご挨拶しました。

ベストプラクティスコンテスト

「学生」×「地域」の取組事例発表会ベストプラクティスコンテストは、高等教育機関と地域との連携の仕組みづくりの一環として、学生が日頃地域で取り組んでいる活動とその成果を

より多くの県民の皆さんと共有することを目的に、平成24年度から開催しています。

4回目となる今回は、地域で活動している10の学生グループから活動発表がありました。

＜発表の様子＞



活動発表を行った学生グループ

※発表順。括弧内はメンバーの所属する学校名

- NPO法人ドットジェイピー三重支部設立準備室（三重大学、四日市大学、鈴鹿工業高等専門学校）
- Good job（近畿大学工業高等専門学校）
- 地域連携カフェ「café HONOBUNO」（三重短期大学、三重大学）
- TGJ（津学生情報室）（三重大学、三重短期大学）
- 伊勢・本のまちプロジェクト（皇學館大学）
- 皇學館みらい対話団（皇學館大学）
- 地域社会研究会（皇學館大学）
- ヒューマンネットワーク部（皇學館大学）
- 租税教室（高田短期大学）
- ボランティアサークル（三重短期大学）

それぞれの学生グループが、工夫を凝らした発表資料を用いて日頃の活動を紹介し、取組にける想いなどを語りました。

また、会場内では、活動発表を行った学生グ

グループが日頃の活動について、模造紙や写真などを使った工夫を凝らした展示を行いました。来場者は各グループの展示を見て回りながら、互いに交流を深めていました。



ご来場の皆さんには、全学生グループの活動発表を聞いていただいたうえで、各グループへの応援メッセージを添え、「この取組が面白い」「自分たちの地域でも参考にしたい」など、共感した団体に投票していただきました。

また、NPO、企業、行政のそれぞれの分野から、5名の方に審査委員として参加していただき、共感した団体に投票していただきました。

審査委員の皆様 ※50音順、敬称略

- 川北 輝（特定非営利活動法人 津市NPO サポートセンター 理事長）
- 先浦 宏紀（株式会社三重銀総研 総務部長 兼 調査部主席研究員）
- 福永 和伸（三重県 戦略企画部 ひとつづくり 政策総括監）
- 松葉 真一（有限会社ギルドデザイン 取締役）
- 山口 友美（特定非営利活動法人 a t r i o 理事長）

事業紹介

三重県が平成27年度に新たに立ち上げた『学生×地域活動』サポート情報局について、

事業受託者である特定非営利活動法人 Mブリッジからご説明をしていただきました。



『学生×地域活動』サポート情報局』では、地域に関心を持つ学生を増やすために「学生」と「地域活動」のマッチングに取り組んでいること、そしてマッチングを行うWebサイト「びたゼミ」などのご紹介をいただきました。

講演会

続いて、地域で活動する学生や、高等教育機関との連携に取り組む地域の皆さんのすそ野を広げるため、先進事例から活動のヒントを学んでいただくことを目的として、講演会を開催しました。

今年度は、東京未来大学 モチベーション行動科学部 教授 石坂督規 氏をお招きし、「地域が変える官民学連携の試みーコラボが生み出す地域再生ストーリー」として、地域活動の必要性や、地域の様々な主体による連携した取組についてご講演いただきました。



ベストプラクティスコンテスト表彰式

最後に、学生の事例発表に対する表彰を行いました。まず、舞台発表を行った全てのグループに対して、日頃から地域課題の解決のため、地域の現場に入って継続的に活動されていることを称賛して、「ベストプラクティス賞」を授与しました。

そして、来場者及び審査委員から最も多く共感を獲得したグループに対しては、「オーディエンス特別賞」を授与しました。今年度は、2グループが同数で最多得票を獲得したことから、それぞれのグループに授与しました。

オーディエンス特別賞を受賞したグループは、次のとおりです。

○ TGJ（津学生情報室）（三重大学、三重短期大学）

<来場者から受賞グループへの主なコメント>

- 学生が津のオススメしたいスポットを自身で調べて、それを冊子にしたものが一般の店舗でも販売されているのは、素晴らしい活動だと思いました。
- デザイン含めて全て「学生」がやっているというのは、すごいと思いましたし、そこに価値があると思いました。
- 行政ではなく、学生さんが津のまちの事を真剣に考えてくれていることを嬉しく思いました。



○ 皇學館みらい対話団（皇學館大学）

<来場者から受賞グループへの主なコメント>

- 対話すべき事ほど、硬いと敬遠されがちなのに、その点もテーマに掲げているところがとても心強く感じます。
- 地域の人同士をつないで、様々な意見を交わすための良い工夫があって良いと思いました。これからも様々なアイディアで人を喜ばせてください。
- 温まる空間をつくりながら対話をすることで、お互いが良い気持ちで情報交換ができるのが素敵です。



表彰式終了後は、発表した学生全員で集合写真を撮影しました。



(以上)